

健康

・文化

和歌山県をつくります

・福祉

県民のみなさま、あけましておめでとうございます。

和歌山県あげての大事業でありました黒潮国体も、昨年、県民のみなさまの力と団結により立派にやりとげることができました。そして、ことしは、和歌山県にとりまして、県ができる百一年という意義深い年です。

そこで、新しい年昭和四十七年を迎えるに当たり、それぞれの地域、社会、職場でご活躍中の三人の方々に大橋知事を

囲んで、これから和歌山県の繁栄につながる、いろいろな課題をお話し合いいただきました。



▲すこやかに、たくましい子どもを産み、育てる「黒潮の子」運動をすすめます。

いろいろの施設を使って、健康づくり▶とスポーツを広めるため「スポーツ教室」などを盛んにします。

おとしよりも子どももみんな明るく、▶
楽しい暮らし……ふしあわせな方やめぐまれない方々のいない福祉づくりをめざします。

開県第二世紀へ力強く

司会 まず、ことしの県政の

課題について、知事さんから…。
知事 みなさん、あけましておめでとうございます。

ことしは、開県百一年目、ちょうど和歌山県ができて二世紀目の最初の年でございます。

それとまた、激動の七〇年代で、もっとも激しく揺れ動く年ではないかとも思われます。いろいろ困難のある年のように、開県第二世紀目の第一

岩橋 みなさん、やはり昨年の黒潮国体は大成功だと申されています。私もやはり本当にかけ立派に成功させた県民のエネルギーと力と団結、そういうものを結集して、福祉和歌山の前進、健康和歌山、スポーツと文化の和歌山、そして、中小

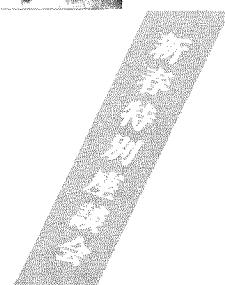
栗林 私どもも、小さいことの黒潮国体は大成功だと申されています。私もやはり本当にかけ立派に成功させた県民のエネルギーと力と団結、そういうものを結集して、福祉和歌山の前進、健康和歌山、スポーツと文化の和歌山、そして、中小



【出席者】写真(上)の順に 敬称略

和歌山県青年団協議会副会長 柚本 善親
和歌山青年文化協会理事長 岩橋延直

むづみ保育園園長 栗林茂子



柚本 そうですね。われわれ青年から見ても、昨年の黒潮国体は大成功だったと思います。

特に、今まで、県民みんなが、スポーツを見て楽しむものと思っていたのが、これからはひとつやつてみようじやないか」という、そういう意味込みが出てきたんじやありませんか。

この点大成功だったと思いますね。

栗林 私どもも、小さいことに、そういうスポーツということに対して、大変大きな知識と期待というんですか、小さい心の中に植え付けていただいたい

ということは大きな成果だった

と思います。

(二面につづく)

